

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.1

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
4	3		5	<A>無理のない自然な声の出し方で歌おう ○青空へのぼろう ・アニー・ローリー ・校歌	強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。声の出し方や発音、歌う姿勢を身に付けよう。	イ ウ	ア		①声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ぶんぶんぶん ・おもちゃのチャチャチャ 小3・4 ・小さな世界 ・ゆかいなまきば 小5・6 ・花のおくりもの ・こきょうの人々 ・バナハ 中3 ・帰れソレントへ
5	3		2	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう ○日本語の抑揚を活用する旋律づくり	言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。	イ ウ	ア		①言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識(言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴)や技能(歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ことばのリズムであそぼう ・音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう ・おまつりの音楽をつくろう ・みんなの音楽時計をつくろう 小3・4 ・チャチャチャのリズムで遊ぼう ・音の動き方を生かしてせんりつをつくろう ・音階をもとにして音楽をつくろう ・役割をもとに音楽をつくろう 小5・6 ・和音に合わせて旋律を作ろう ・動機をもとに音楽をつくろう ・役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう 中2 ・平調子の特徴を生かして音楽をつくろう ・言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう
6	1									

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.2

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
			2	<C>弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう ○「春」第1楽章 ・「秋」第1楽章	曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞しよう。リトルネッロ形式による曲の構成を聞き取ろう。	イ	ア		①曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・こうしんきょく ・おもちゃのへいたい ・しゅっぱつ ・ウィーンの音楽時計 小3・4 ・組曲「アルルの女」から ・ピーターとおおかみ ・ノルウェー舞曲第2番 小5・6 ・組曲「カレリア」から ・ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章 ・ハンガリー舞曲第5番 ・交響曲第5番「運命」 ・ラブソディーインブルー 中2 ・ボレロ ・交響曲第5番八短調 中3 ・ブルタバ

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.3

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
			3	<D>曲の形式を生かして歌おう ○夏の思い出 ・赤とんぼ	曲想を感じ取り、形式を生かして表現を工夫しよう。曲想と形式との関わりを理解して、音域に応じた声で歌おう。	イ ウ	ア		①曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などを身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1 ・うみ ・かたつむり ・日のまる ・ひらいたひらいた 小2 ・かくれんぼ ・春がきた ・虫のこえ ・タやけこやけ 小3 ・うさぎ ・茶つみ ・春の小川 ・ふじ山 小4 ・さくらさくら ・とんび ・まきばの朝 ・もみじ 小5 ・こいのぼり ・子もり歌 ・スキーの歌 ・冬げしき 小6 ・越天楽今様 ・おぼろ月夜 ・ふるさと ・われは海の子 中2 ・浜辺の歌 ・早春賦 ・花の街 中3 ・花 ・荒城の月
6	3		2	<E>構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう ○擬声語や擬態語を活用する音楽づくり	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう	イ ウ	ア		①言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識(言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ねこのなきごえであそぼう ・ほしの音楽をつくろう ・どんな音がきこえるかな 小3・4 ・いろいろな声で表現して遊ぼう ・音のひびきや組み合わせを楽しもう 小5・6 ・いろいろな声で音楽をつくろう ・ずれの音楽を楽しもう ・じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう 中2 ・リズムパターンをつくろう 中3 ・CMソングをつくろう

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.4

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
7	2		3	<F> 歌曲の形式の違いを鑑賞しよう ○魔王	曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞しよう。曲全体の構成を理解して、各登場人物の表現を聴き取ろう	イ	ア		① 歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。 ② 鑑賞に関わる知識(歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③ 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・どれみのうた ・おどるねこ ・そりすべり ・マンボナンバーファイブ 小3・4 ・ユモレスク ・白鳥 ・「サウンドオブミュージック」から ・トルコ行進曲 ・歌劇「魔笛」から 小5・6 ・つるぎのまい ・クラッピングミュージック ・バイオリンとピアノのためのソナタ 中3 ・オペラ「アイダ」から第2幕
8 9	2 6		8	<G> 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう ・校内合唱コンクール発表曲 (学級自由曲) (全校合唱曲)	主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫しよう。曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌おう。	イ ウ	ア		① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。 ② 歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ③ 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・ドレミの歌 ・この山光る ・エーデルワイス ・ゆかいに歩けば 小5・6 ・夢色シンフォニー ・君をのせて ・大切なもの ・明日を信じて

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.5

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
10			6	タンギングや左手の運指を身に付けよう ○オーラ・リー ○メリーさんの羊 ・リズム de ゴー ・しりとり歌 ・チャイニーズダンス ・喜びの歌 ・カノン1 右手の運指や低い音を表現する奏法を身に付けよう ○ロングロングアゴー ○ソナタK.331 ・うみ ・アメージンググレイス	リコーダーの音色と奏法との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身に付けたりしながら表現しよう。 曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりしながら、表現を工夫しよう。 リコーダーの音色と奏法との関わりを理解したり、右手で低い音を表現する奏法を身に付けたりしながら表現しよう。	イ	ア		①リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けている。 ②器楽表現に関わる知識(リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わり)や技能(タンギングや左手の運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。 ③器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・こんにちはリコーダー ・旋律の感じを生かしてリコーダーで歌おう ・パートの役割を生かして演奏しよう(せいじゃの行進) ・サミングに挑戦しよう 小5・6 ・かけ合いや重なりを生かして演奏しよう(星笛) ・旋律やひびきの変化をとらえて演奏しよう(マルセリーノの歌) 中2 ・誰も知らない私の悩み ・サムのみごと、レ・エル・ブレイ ・きらきら星、威風堂々 ・アーティキュレーション(大きな古時計)
11			1	〈H〉 箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう ○六段の調 ・鹿の遠音	箏曲や尺八曲の共通点や相違点を捉えながら鑑賞しよう。用いられる音階や曲の構成などの特徴を聞き取ろう。 尺八の音色や奏法などの特徴を聞き取ってみよう。	イ	ア		①箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性について理解している。 ②鑑賞に関わる知識(箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性)を得たり活かしたりしながら、箏曲と尺八曲との共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり活かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ながうた「むしの声」 小3・4 ・さくら変そう曲 小5・6 ・長唄「越後獅子」から ・春の海 ・雅楽の演奏/三曲合奏 中2 ・雅楽「越天楽」 ・能「羽衣」キリから 中3 ・歌舞伎「勸進帳」 ・文楽「義経千本桜」

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.6

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
1 2			4	箏の基本的な奏法を身に付けよう ○さくらさくら ・練習曲1 ・練習曲2	箏の音色と奏法との関わりを理解したり、調弦や基本的な奏法を身に付けたりしながら表現しよう。 曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、右手の使い方や縦譜の読み方などの基本的な奏法を身に付けたりしながら、表現を工夫しよう。 曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、押し手の奏法を身に付けたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	イ ウ	ア		①箏の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。 ②器楽表現に関わる知識(箏の音色と奏法との関わり)や技能(右手の使い方や縦譜の読み方など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。 ③器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・ことで「さくらさくら」にチャレンジしよう(さくらさくら) 中2 ・奏法<押し手>(荒城の月)
1			2	<I>民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう ○ソーラン節 ・かりぼし切り歌	民謡にふさわしい声で、囃しことばや伴奏に合わせて表現を工夫しよう。 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を理解して歌おう。 旋律の装飾やまとまりを捉えて歌おう。	イ ウ	ア		①声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わりについて理解している。囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わり)や技能(囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・たなばたさま、たきび、おしょうがつ、うれしいひなまつり ・つき、とんぼのめがね、雪 小3・4 ・どこかで春が、みかんの花さくおか、里の秋 ・あの町この町、七つの子、まっかな秋 小5・6 ・ペチカ、星とたんぼぼ、待ちぼうけ、ちいさい秋みつけた ・荒城の月、箱根八里 中3 ・長唄「勸進帳」をうたおう

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第1学年

No.7

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価 規 準			他学年との系統性	
						①	②	③		
1			2	<J>わが国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう ○日本とアジアの声によるさまざまな表現 ・天台声明・八木節 ・江差追分・ケチャ ・ホーミー ・プヌン族の合唱	音楽の特徴や役割を捉え、多様性を考えながら鑑賞しよう。 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を聞き取ろう。	イ	ア		①我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ②鑑賞に関わる知識(我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ながうた「むしの声」 小3・4 ・さくら変そう曲 小5・6 ・長唄「越後獅子」から ・春の海 ・雅楽の演奏／三曲合奏 中2 ・雅楽「越天楽」 ・能「羽衣」キリから 中3 ・歌舞伎「勧進帳」 ・文楽「義経千本桜」
2			5	<G>音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう ・卒業式式歌 ・式歌練習	主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫しよう。 曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌おう。 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう。	イ	ウ		①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小5・6 ・花のおくりもの ・バハナ ・ロックマイソウル 中2 ・生命が羽ばたくとき ・大切なもの 中3 ・旅立ちの日に ・時を越えて ・故郷
3										